



宝塚さざんか福祉会 法人理念

- 法人は、利用者一人ひとりの想いを大切にし、これを共有し、その想いが実現できるように支援します。
- 職員は、職業人としての自覚を持ち、自ら資質の向上を図り、豊かな人間性の醸成に努めます。
- 法人は、地域と共に暮らし、地域と共に活動して地域のコミュニティ発展に寄与します。

表紙写真提供：いきいき宝塚

Contents

法人役員改選について	2・3P
組織図	4P
事業計画・研修計画	5・6P
2022年度 入職職員紹介	7P
2023年度 新任職員紹介	8・9P
ときめき-後援会ニュース	10・11P
法人へのご寄付／編集後記	12P



去る6月26日の定時評議員会及び理事会において、下記の通り役員の改選が行われました。
新体制のもと役員一丸となり、今後とも社会福祉法人としての責務を果たしてまいります。

任期 令和5年6月26日より令和7年6月開催の定時評議員会終結時まで

理事長	今西 則行
常務理事	辻井 善弘
理事	浅山みゆき 直島 正樹 今北さゆり 八木 誠
監事	山口亜希子 中村 喜弘



長い間御世話になりました。

平成5年に、知的障害児者保護者の会である、宝塚市手をつなぐ育成会の会長になり、宝塚さざんか福祉会の理事に加えて頂きました。

私は息子やその仲間の人たちの為に様々な活動をしてきました。手をつなぐ育成会では、地元育成会と県育成会の会長を務め、知的障害児者生活サポート協会の設立もして県代表として務めました。

重度の知的障害の子の親として必死で活動していた私には、当時の理事会のあり方には歯がゆさを感じ、平成19年に副理事長に就任、平成21年には当法人の理事長をさせて頂いて現在に至っております。

親の立場の者が法人の理事となり、更に平成21年からは理事長となったことで、これまでの理事構成や理事会の在り方にも疑問を感じておりましたので、これからの社会福祉法人の健全な運営のためには、現場に精通した職員の方が、運営に関わり、「自分達の法人は自分達で守り築いて行くという気概の持てる法人」であるべきだと考えておりました。

丁度そのころ、社会福祉法人の法律の改正があり、法人の職員が理事になる人数制限がなくなり、理事も少数精鋭で良いという規定に合わせて、6人の最小の理事数の理事会としました。6人の内3人は職員で育成会関係2人と学術専門職（教授）の構成とし、利用者のことも支援者（職員）のことも含め考えていける理事会となるよう構成しました。

社会福祉制度も年々変革され、今後も福祉関係も社会全体も大きく変わっていくと思います。

新理事長は障害福祉の理念と人権擁護の意識の高い方であることと、これまで現場の最高責任者として、各部長と各施設長（課長）と堅実に協議を重ねて、引き続き全職員の皆さんと法人の健全運営に向けて尽力して頂けると全幅の信頼をしております。

今後は、一保護者として、宝塚さざんか福祉会の応援をさせて頂き、我が子を含む知的障害のある人達の平和な生活の継続を見守り応援をしていきたいと考えております。

保護者の皆様 職員の皆様 至らぬ法人の理事長を温かく見守り支えて頂いて誠に有難う御座いました。心より感謝申し上げます。

松井 美弥子



ご挨拶

日頃より法人運営にあたりましては、温かいご支援とご協力をいただき心から感謝申し上げます。

このたび、理事長に就任することとなりました。

松井前理事長には、兵庫県内だけでなく、全国各地で活動される多くの方々に出会わせて頂くご縁を繋いでいただき、地域生活支援、虐待防止や権利擁護支援等への取り組みや東日本大震災での被災地支援など、特に人権・権利擁護や地域生活にかかわる多くのことを学ばせていただきました。松井前理事長へのお礼の言葉を訪問する先々で現場スタッフや関係者の皆様からお声かけいただき、実直なお人柄が多くの方々に伝わっていることをとても誇らしく思いました。永きにわたり法人運営に全力でご尽力いただきましたことに、改めて心より感謝申し上げます。広い分野でご活躍された前理事長の後、このような大役を仰せつかり、改めて職責の重さに身の引き締まる思いでございます。

1977（昭和52）年に法人が設立されてから今年で46年目を迎えます。今後の社会情勢は予測しづらく、厳しい状況が続くことが想定される中、施設・設備の老朽化への対策や人口減少・高齢社会に伴う人材確保の難しさ、採用後の育成・定着など、引き続き取り組むべき多くの課題を抱えております。

微力ではございますが、歴史あるこの法人で、私なりに、全職員と共に一つ一つ着実に進め、将来につなげていきたいと思っております。

引き続きご指導・ご鞭撻並びにご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

理事長 今西 則行



先般の理事会並びに評議員会におきまして役員の改選が行われ、常務理事に就任させて頂くことになりました 辻井善弘でございます。私は、新卒22歳だった1998年（平成10年）4月から今日までの25年間、この宝塚さざんか福祉会をライフステージとしてお世話になり続けて参りました。

物心つくころから水泳に親しむ日々を過ごし、ライフサイクルにしていた競泳を引退した私に居場所を与えてくださった宝塚さざんか福祉会に感謝しております。

その25年前、新人だった私が広報誌に記した文章が法人の書庫から出てきましたので掲載してみます。

スタート

あしたは団指導員 辻井 善弘

「あしたは団」に勤務している。末は水泳のコーチしか無いと言われた私である。「日本の水泳界を背負って立て。」長年言われ続けて来た言葉だ。物心付いた三歳の頃から陸に在るより水にいたという状態。衣食住すべてが泳ぐ事の基本にあった。喜びも悲しみもそう。そんな私の基本理念は、「人と同じ事をしない」である。具体的に言うとう、今までの選手生活を忘れ、新しい自分を見付けたくまでわき役の自分を作る。それが目標である。しかしそんな事を考える余裕も無く一ヶ月が経過した。まるで南米のスコールのように。だが、今はまだスタートのピストルが鳴ったのにすぎない。これからとんどん学習し、楽しみ、苦しみぬいて自分を成長させて行こうと思う。その後、利用者、職員全員が楽しめる行事や活動を考えて行こうと考える。さざんか福祉会の明るい未来を想像して……。

出所：「さざんか第45号」1998年6月

者ではない社会で生活する様々な人たち（高校生・大学生・教職員・保育士・市民等）を対象に、障害のある人の暮らしについて興味・関心を抱いていただくための活動に力を注いでいます。

私たちの役割は、障害のあるすべての人たちの幸せな暮らしの実現にあります。

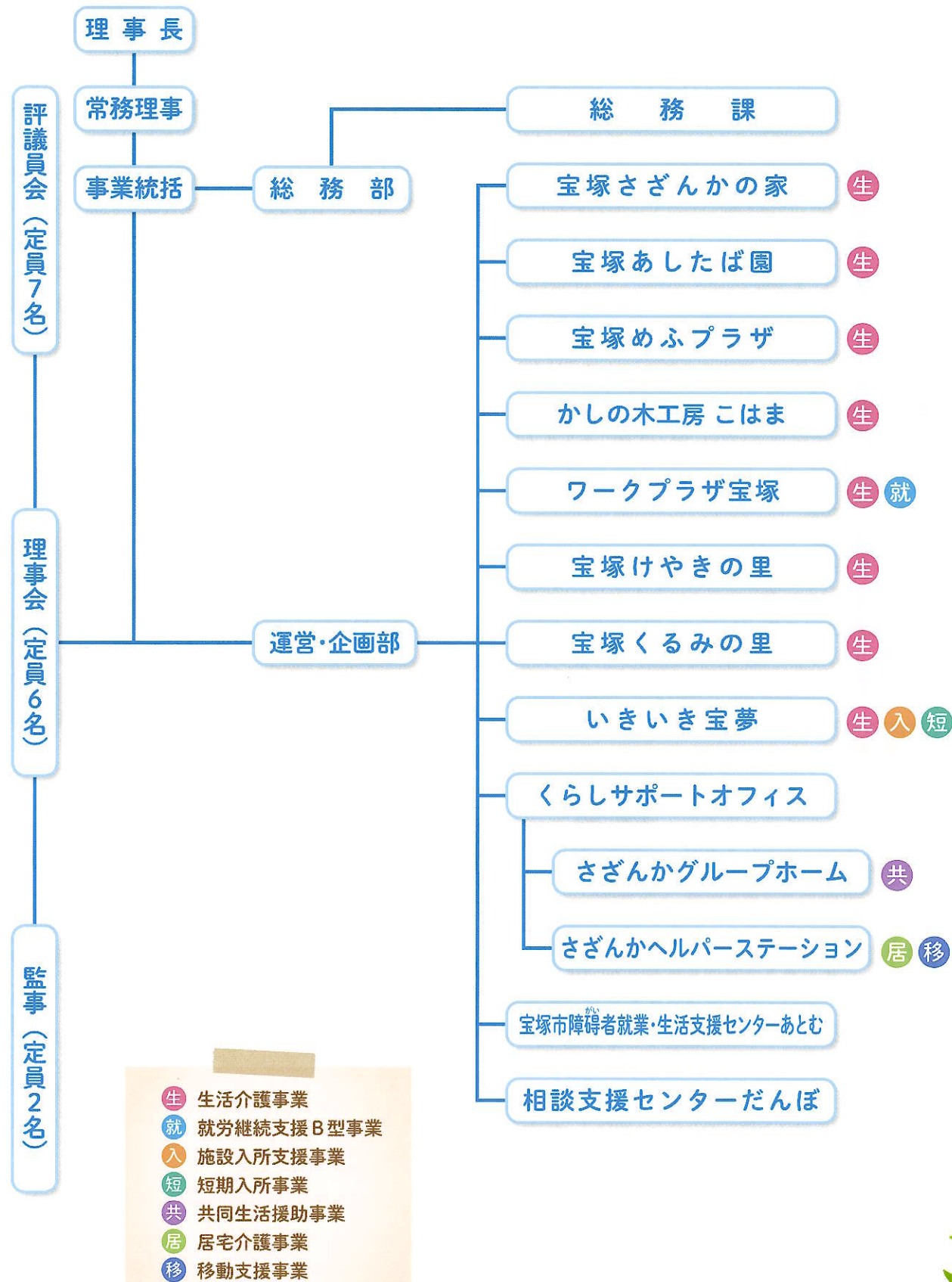
そして宝塚の地域に存在する当法人は、いつまでも利用者の皆様の味方であり続け、その役割を任せられる存在であり続ける必要があります。

これからも初心にある「利用者・職員全員が楽しめる福祉会（一部改変）」を実践していきたいと考え、前任の今西常務理事のように誠実に、精いっぱい努力していく所存でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

常務理事 辻井 善弘



宝塚さざんか福祉会組織図



令和5年度 宝塚さざんか福祉会事業計画・研修計画

重点取組内容

1. 組織運営・経営体制の強化について

① 第3期行動計画の策定に向けて

令和7年度からの「第3期行動計画」策定のための課題集約等をおこないます。計画策定にあたっては、人口の減少に伴う今後の利用契約者数の変動や懸念される人材不足への対応、施設老朽化に伴う施設設備総合計画等と合わせて、不可避な課題を意識・共有し、持続可能な法人運営のための行動計画を策定していきます。

② 委員会・プロジェクト(PT)

ア. 各委員会、プロジェクトのこれまでの取り組みの総括や成果等の確認をおこない、新たに明確となった課題等を第3期行動計画へ反映させるための提案等を集約します。
イ. 法人ホームページや広報誌などの啓発活動を通して法人の取り組みや活動、障害のある人に対する理解を深めるための基盤づくりにつながるよう、更なる有効的な活用方法を検討し、充実させていきます。

③ 地域生活支援との一体型事業体制への再編にむけて

「利用者一人ひとりに深く寄り添った24時間の支援体制」を限られた人的資源の中で、持続可能な仕組みとして構築するため、日中事業所とグループホームとの一体的な支援体制への移行を進めています。
「新しい支援グループ体制」への移行は、令和6年3月末までを目途とし、今年度は安倉地区にあるグループホームと日中事業所の一体型支援体制への再編・構築に取り組みます。全職員が相互に理解・協力し合いながら、それぞれが出来ることを担い、全利用者を支えていくための持続可能な体制作りを進めていきます。

④ 福祉サービス第三者評価の実施について

昨年度コロナ感染症等々の影響で、評価プロセスが中断したさざんかグループホームが今年度改めて評価受審し、現場の現状を客観的に捉え直し、支援の質の向上等に努めます。法人行動計画では、いきいき宝夢を予定しておりましたが、令和6年度とし、それ以降の受審予定も順次変更して進めていきます。

⑤ 法人内監査等の実施継続について

顧問会計士による毎月の会計指導・拠点往査指導や、部長職による半期ごとにチェックリストを活用した各事業所への内部監査、総務部職員による巡回や定期的な棚卸しを実施し、法令遵守に努め、適正な法人運営や健全な法人経営となるように、日々の改善や経費節減等に繋がる取り組みを継続して実施します。

2. 人材の育成・確保・定着について

① 法人研修計画について

法人職員研修方針を基に、人材確保・育成・定着プロジェクトが示す具体的な年間研修内容及びスケジュールに沿って、目的を持って構成されたグループを基本に、法人内研修に取り組みます。また、各事業所においては、管理者が、職員個々に応じたOJTの実施や、育成への意図や目的、目標を明確にした上での法人外への各種研修への派遣等を行い、学びへのサポートを積極的に行います。研修参加後の復命については、書面だけではなく、会議等の場で報告や自らの学びや気づき等について、自分の言葉で他の職員に情報提供できる機会を設けます。

② 人材確保への取り組み

ア. 兵庫県知的障害者施設協会や福祉専門職養成校等主催の福祉就職フェアに積極的に参加し、新卒者の確保に努めます。
イ. 法人ホームページや求人サイト、ハローワーク等、求人媒体を活用し、経験者雇用も含め人材確保に努めます。

③ 感染防止・予防対策と「こころとからだの健康」

適切な安全衛生管理体制を整備するため、昨年度より法人として衛生管理者及び産業医を選任しました。衛生管理者の職場巡回での聴き取りと共に、各職場で管理者が中心となり、職員ひとり一人が互いに目を向け合い、常に健康保持増進、健康障害防止、労働災害の再発防止策につながるよう、安全衛生に関する意識の向上への取り組みを継続し、安心して働き続けられる職場環境の形成に取り組みます。

3. 事業運営・経営における取り組みについて

(1) 事業運営

- ア. 入居予定であった、「あるがまま交流活動センター『あるでこむ』(売布東の町)」の建設が中止となったため、「宝塚めふプラザ」を現在の移設先に隣接する「かしの木工房 こはま」と名称・機能を統合し、それぞれの特色を活かした一体的な施設運営(定員60名)に変更していきます。
- イ. 所有する土地の活用と近隣福祉事業所との協同のため新たに収益事業を開始します。

(2) 地域貢献

- ア. 宝塚市社会福祉法人連絡協議会等分野を越えた繋がりを構築するための活動に参加します。
- イ. 市内に点在する各事業所の近隣地域の住民活動に協力・参加等します。特に、地域の方と共に災害時の食を考える「食と防災」実施研修や防災協定等、命を守る・守り合う連携や高齢のため取り組みにくい箇所の自治清掃活動への側面的支援等をおこないます。
- ウ. 福祉人材の育成・養成・啓発のための現場実習や、障害者福祉・権利擁護等の分野に関する講座、演習等への講師派遣等に取り組みます。

(3) 経営環境・財務計画

- ア. 「すべての法人と個人事業主」(原則)が対象となる「改正電子帳簿保存法」が令和6年1月から義務化されることに伴い、対象書類(国税関係帳簿、決算関係、取引関係)は一定の要件を満たした上で電磁的記録での保存が必要となるため、この法に対応できる環境整備の準備に取り組みます。
- イ. 勤怠管理や給与計算などの労務管理業務の自動化、効率化や情報の連携、ペーパーレス化等の省力化が可能となる管理ソフトの導入について検討し、実用につなげます。
- ウ. 施設整備等のための「目標積立金(事業収入の5%)」について、今年度も目標額を設定し、計画的に確保できるよう努力します。建設資材、消耗品等の高騰や人員配置不足での加算減等のため、収入が一定せず、財源確保のための計画も随時見直す必要があるとおもわれますが、充足率、稼働率、効率化、省力化、費用対効果等を意識しながら、経営環境の改善・安定のための取り組みをおこないます。

4. 職員研修計画

基本方針

法人理念を基にした経営活動を実践するため、人材確保・育成・定着への取り組みが豊かな「人・組織・地域」づくりにつながるように、職員一人ひとりが「目標」を持ち、学びたいと思う気持ちに効果ある研鑽等を積み重ねていけるよう最大限配慮します。研修については、個々に合わせて策定し、「育成」「評価」「処遇」が連動し、意欲・能力を十分に発揮できる職場づくりにつながるように計画します。特に「人権・権利擁護」につながる「援助観」「人間観」「倫理観」に関する研修を積極的に取り入れ、不適切な対応や事故防止のための支援技術や職場倫理の向上に努めます。

進め方について

- ①職員一人ひとりの「目標」をサポートする研修計画の作成
- ②法人研修体系に基づく派遣等(Off-JT)研修の実施
- ③法人内(OJT)研修について

重点課題

- ①新規採用職員や経験年数の浅い職員、経験者雇用職員への人材育成を積極的に行います。
- ②中堅職員のソーシャルワークの向上と「援助観」「人間観」「倫理観」の再構築につながる研修を行います。
- ③管理職に対して、組織運営や労務管理等々に関するマネジメント研修等を実施します。



2022年度に入職された

職員紹介

質問事項

- ①名前
- ②配属先事業所
- ③趣味
- ④人生で一番うれしかったことは?
- ⑤理想の支援者像は?(座右の銘)
- ⑥入職時期



- ①穂崎 紗羅(ホザキ サラ)
- ②ワークプラザ宝塚
- ③動画を見ること
- ④好きな舞台上で推しのファンサをもらえたこと

- ⑤話しやすい、相談しやすいと思ってもらえるように心地の良い支援を心掛けていきたいと思っています
- ⑥令和4年5月



- ①佐藤 舜(サトウ シュン)
- ②かしの木工房 こはま
- ③食べ歩き、散歩
- ④尊敬できる人に出会えたこと
- ⑤「塞翁が馬」「冬来たりなば春遠からじ」ほっと安心できる場を作れる人が素敵だなと思っています

- ⑥令和5年1月



- ①藤原 孝子(フジワラ タカコ)
- ②宝塚あしたば園
- ③無料のまんが配信を毎日1話ずつ読むこと
- ④遠い昔、新婚旅行に行った時。あの時の嬉しさはどこへやら…

- ⑤利用者さんにとって空気のような存在。看護師なので、何かあった時に何のプレッシャーも与えずに傍にいたい
- ⑥令和4年10月

2023年度

新任職員紹介

質問事項

- 1 名前
- 2 配属先事業所
- 3 趣味
- 4 人生で一番うれしかったことは?
- 5 理想の支援者像は? (座右の銘)



- 1 刀根 則子 (トネ ノリコ)
- 2 宝塚あしたば園
- 3 料理すること、食べること
- 4 普通が一番幸せだということに気づけたこと
- 5 「失敗は成功のもと」失敗することを恐れず何事もチャレンジしていきたいです



- 1 平山 愛理 (ヒラヤマ アイリ)
- 2 さざんかグループホーム
- 3 バイクに乗ってお出かけゲーム、絵を描く
- 4 バイクを買ったこと
- 5 失敗は成功のもと。失敗を引きずらず、楽しく、ポジティブに物事を考えられる支援者でありたいです!



- 1 浦 圭佑 (ウラ ケイスケ)
- 2 さざんかグループホーム
- 3 映画鑑賞
- 4 介護福祉士の国家試験に合格したこと
- 5 日々学び成長し、利用者様に一人ひとりの想いに寄り添って支援することができる職員になりたいです



- 1 吉岡 祐貴 (ヨシオカ ユウキ)
- 2 いきいき宝夢
- 3 音楽鑑賞、散歩、ゲーム
- 4 大学で皆で企画したイベントが成功したこと

- 5 利用者一人ひとりに寄り添い支援を行うこと、研修など自分自身の成長・ステップアップを怠らない支援者を目指します



- 1 河野 ひとみ (カワノ ヒトミ)
- 2 いきいき宝夢
- 3 カラオケ
- 4 最愛の家族ができたこと
- 5 いつも笑顔で利用者さんと楽しい時間を過ごしたいです



- 1 関口 優佳子 (セキグチ ユカコ)
- 2 いきいき宝夢
- 3 好きなアイドルのライブDVDをみること
- 4 好きなアイドルのライブに行けたこと・社会福祉士の国家試験に合格したこと
- 5 利用者のことを第一に考え、日々の気づきを大切にできる支援者になりたいです



- 1 大藪 佳音 (オオヤブ カノン)
- 2 いきいき宝夢
- 3 ゲーム・アニメ・空手・アルトサックス・カラオケ
- 4 自分の給料が入って自分のことができるが増えたこと

- 5 想像に勝るものなし、常に想像する人でありたい



- 1 溝口 力駆 (ミゾグチ リク)
- 2 いきいき宝夢
- 3 読書、特撮ドラマ鑑賞
- 4 高校時代阪神地区の高校生を代表して尼崎市長に呈茶したこと
- 5 利用者の方に寄り添い、よりよい支援を求め常に考え成長していく支援者



- 1 井上 七星 (イノウエ ナナセ)
- 2 いきいき宝夢
- 3 ショッピング、外食
- 4 好きなアーティストのライブにいったこと
- 5 破天荒階



- 1 北 早紀子 (キタ サキコ)
- 2 いきいき宝夢
- 3 ライブ鑑賞。おいしいお菓子やお店を探すこと。ディズニーで写真を撮ること
- 4 好きなアーティストとプライベートで偶然会えたこと
- 5 利用者さんの思いに寄り添える支援者になりたいです



- 1 辻川 朔良 (ツジカワ サクラ)
- 2 いきいき宝夢
- 3 ギター、カメラ
- 4 ELLEGARDENが復活したこと
- 5 一人一人の気持ちに寄り添った支援ができる支援者



- 1 松本 康道 (マツモト ヤスミチ)
- 2 さざんかグループホーム
- 3 DIY、サイクリング、陶芸、探索散歩、酒など
- 4 子供の成長

- 5 自分と相手を知り、協力で課題を解決し共に喜び合える支援者



- 1 宮本 愛好加 (ミヤモト アミカ)
- 2 ワークプラザ宝塚
- 3 散歩
- 4 チョコパイのファミリーパック(9つ)を一度に食べたこと
- 5 一緒にいて安心できると思っていただけのような職員になりたいです (温和勤勉)



- 1 徳広 倫貴 (トクヒロ ミチタカ)
- 2 さざんかグループホーム
- 3 鉄道旅行
- 4 大学時代の部活で、コロナ禍に演奏会を実現できたこと
- 5 利用者の皆さんからの信頼をベースに、皆さんが楽しく過ごせる環境を形成していきたい



- 1 森迫 美晴 (モリサコ ミハル)
- 2 さざんかグループホーム
- 3 歌を歌うこと、YouTubeをみること
- 4 好きなYouTuberのライブに行けたこと

- 5 縁の下の力持ち、安心する、話しやすいと思っただけのような支援員になるのが理想です

ときめき

宝塚さざんか福祉会後援会ニュース

2023.7.1

新会長挨拶

皆さま初めまして、この度思いがけなく宝塚さざんか福祉会の後援会会長に就任しました高屋舗 純子（たかやしき じゅんこ）と申します。何卒宜しくお願い致します。



地域活動では、宝塚市子ども会連絡協議会に携わったのが最初だったと思います。子ども会でのイベントは楽しい思い出で一杯です。今回の就任により宝塚さざんか福祉会の皆様と一緒に新たな気持ちで取り組みたいと思います。

地域に密着し、利用者一人ひとりの想いを大切にという法人理念を念頭に置いて後援会の仕事をさせていたこうと思っています。

ここ3年程、コロナ禍で制約が多く不便な事ばかりでしたが、これからは、以前のような活動ができるようにと祈りながら、皆様の様々な行事に参加させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

1977年に設立された宝塚さざんか福祉会様を取り巻く環境も様変わりしたと思います。しかし、生活時間と折り合いをつけながら働きたいというニーズを的確に捉え、また地域で社会的自立の援助に努められておられる事業などの手助けが少しでもできたらと、おこがましくも思っています。

コロナ禍で思うような活動ができなかったと推察しますが、これからは感染予防対策をしながらでも交流の場が広がればと思っています。

そして、私の一番の目標は、会員普及に努めたいと思っています。昨年より一人でも多くの方に会員になっていただき、宝塚さざんか福祉会への援助に精一杯努めたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

ご支援ありがとうございます。 令和4年4月1日～令和4年12月31日 (ご寄付いただきました)

宝塚さざんか福祉会へ物価高騰寄付金 700,000円

(株)北宝塚モータース 東 彰子 小畑 洋子 川合 陽美 小松 秀子
平尾 晃 前辻 真由美 榎 幸江 藪内 昌子 山岡 久美子 匿名(1名)
順不同敬称略

令和4年度会員数

一般会員 115人 特別会員 42人 (紙面上お名前は割愛させていただきました。)

宝塚さざんか福祉会後援会 事務局 宝塚市安倉西3丁目1番5号

今年号より宝塚さざんか福祉会の機関誌に後援会の情報も取り入れていきます。宝塚さざんか福祉会を盛り上げていきたいと思っております。よろしくお願ひします。

2023年7月1日

宝塚さざんか福祉会 後援会 令和4年度収支計算書

(令和4年4月1日～令和4年12月31日)

※令和4年度より会計年度が1月1日～12月31日に改正されました。

収入の部	科目	予算(A)	決算(B)	(A)-(B)	備考
収入の部	会費収入	1,000,000	765,000	235,000	
	一般会費	420,000	345,000	75,000	@ 3,000円
	特別会費	550,000	420,000	130,000	@ 10,000円
	団体会費	30,000	0	30,000	@ 10,000円
	負担金収入	80,000	0	80,000	
	寄付金収入	100,000	42,373	57,627	
	雑収入	2,000	191	1,809	預金利息
	積立金取り崩し収入	0	0	0	
	仮受金	0	173,050	-173,050	
	当期収入合計(1)	1,182,000	980,614	201,386	
前期繰越金収入	1,034,812	1,034,812	0		
収入合計(2)	2,216,812	2,015,426	201,386		

支出の部	科目	2022年度予算(A)	実績(B)	(A)-(B)	備考
支出の部	事務費支出	250,000	207,675	42,325	
	旅費交通費	5,000	0	5,000	
	一般事務用品費	45,000	34,432	10,568	
	印刷製本費	20,000	29,975	-9,975	印刷代
	会議費	20,000	36,026	-16,026	理事会・広報部会等
	通信運搬費	100,000	77,212	22,788	機関誌・案内等送料
	賃借料	5,000	0	5,000	
	雑費	55,000	30,030	24,970	
	振替手数料	50,000	28,490	21,510	
	その他手数料	2,000	1,540	460	
	諸雑費	3,000	0	3,000	
	事業費支出	266,000	32,770	233,230	
	施設援助費	0	0	0	
	施設活動援助費	0	0	0	
	地域交流費	0	0	0	
	啓発活動費	115,000	32,770	82,230	
	機関誌印刷費	80,000	32,770	47,230	
	総会費用	30,000	0	30,000	
	雑費	5,000	0	5,000	
	研修費	150,000	0	150,000	
	地域生活支援費	0	0	0	
	雑費	1,000	0	1,000	
	寄付金支出	0	700,000	-700,000	
	積立預金支出	500,000	500,000	0	
	予備費	1,000,000	0	1,000,000	
未払金	0	173,050	-173,050		
当期支出合計(3)	2,016,000	1,613,495	402,505		
当期収支差額(1-3)	-834,000	-632,881	-201,119		
次期繰越収支差額(2-3)	200,812	401,931	-201,119		

貸借対照表

(令和4年12月31日現在)

(単位:円)

勘定科目	当年度末	前年度末	増減
資産の部			
流動資産	574,981	984,812	-409,831
現金預金	574,981	984,812	-409,831
現金	57,367	272,005	-214,638
預金	230,754	657,880	-427,126
郵便振替	286,860	54,927	231,933
未収金	0	50,000	-50,000
固定資産	12,000,000	11,500,000	500,000
積立預金	12,000,000	11,500,000	500,000
資産の部合計	12,574,981	12,534,812	40,169
負債の部			
流動負債	173,050	0	173,050
未払金(法人への寄付金)	149,050	0	149,050
前受金(次年度会費)	24,000	0	24,000
負債の部合計	173,050	0	173,050
純資産の部			
積立金	12,000,000	11,500,000	500,000
次期繰越収支差額	401,931	1,034,812	-632,881
純資産の部合計	12,401,931	12,534,812	-132,881
負債及び純資産の部			
負債及び純資産の部合計	12,574,981	12,534,812	40,169



宝塚さざんか福祉会への寄付 (令和4年4月1日～令和5年3月31日) 敬称略

総額 9,942,433円

ありがとうございました。それぞれの事業所で有意義に使わせていただきました。

法人本部 (岩元幸子、医療法人社団仁成会、宝塚更生保護女性会、宝塚さざんか福祉会後援会)、宝塚さざんかの家 (浅山みゆき、匿名 (3件)、宝塚さざんかの家保護者会)、宝塚あしたば園 (林仁志、松井瑞夫)、宝塚めふプラザ (匿名 (2件))、宝塚けやきの里 (匿名 (2件))、かしの木工房 こはま (かしの木工房こはま保護者会)、宝塚くるみの里 (匿名 (1件))、いきいき宝夢 (橋本千秋、建部好治、志儀和恵、都山隆宏)、さざんかグループホーム (小原修治、古澤堅治、松浦佳代、桑原純一、勇山英司、鈴木敦子、土井真也、西島眞、中井麗、古庄宏幸、松井美弥子、カリゲルグループ「あじさい」代表宮内美穂子、浅山みゆき、松井瑞夫、匿名 (1件))、宝塚市障害者就業・生活支援センター (土屋佳子)、相談支援センター (土屋佳子)



令和5年4月1日に今年度の入職式兼辞令交付式を執り行いました。
多くの新任職員をお迎えし、初心挨拶と激励の言葉を交わし、
たくさんの笑顔と活気に溢れながら今年度のスタートです。

編集後記

広報・啓発PTでは毎年、年2回の広報誌発行をさせて頂いております。私自身はこの『SasanQua通信』の1号から携わらせて頂き、今年も担当させて頂けることに感謝しております。

先日、法人を利用されるご利用者様のご家族様から法人広報誌やホームページについてご意見を頂戴しながら、励ましのお言葉も頂き、大変感謝しております。このように広報・啓発活動は決して一方的な発信でなく、皆様と一緒に歩みを進めることができると考えております。今後とも宜しくお願い致します

片山 翼